

日本人はキリスト教をどのように受容したか・目次

はしがき

山折 哲雄 1

I

日本人とキリスト教

——半・日本人クライシスについて——

山折 哲雄 3

東方の三博士

——キリシタンの聖書翻訳——

米井 力也 19

犠牲としてのキリシタン

——殉教と旅の重さ——

川村 邦光 37

日本における『宗教』概念の形成

——井上哲坎郎のキリスト教批判をめぐって——

島蘭 進 61

民俗・民衆宗教としてのキリスト教の文脈化

——沖縄県の聖霊運動を手がかりとして——

池上 良正 77

II

日本人とネストリアン

石川淳の聖痕

——機械としてのキリスト教——

井上 章一 95

小谷 晴勇 103

隠れキリシタンと隠れ念仏

米村 竜治 121

『新世紀エヴァンゲリオン』と Material children
禁断の果实

多田 伊織 137
島田 裕巳 155

III

日本人のキリスト教受容とその理解

宮崎賢太郎 169

魂とスパイス

エンゲルベルト・ヨリッセン 213

——十六世紀のポルトガル植民地政策とイエズス会士ルイス・フロイス——

潜伏キリシタンの終末論

紙谷 威廣 249

——民俗宗教の世界観として——

IV

インドにおける二つのキリスト教——村と聖地

田中 雅一 287

インド・日本・キリスト教

長田 俊樹 307

——はたしてバイアスなき宗教研究はなりたつのか——

共同研究会記録

編集後記

325

執筆者一覧

333